

## 導入事例

# Kiviks Musteri 社は、インフォアのクラウドをデジタル変革のコアに据える

スウェーデン南部、ハーネ湾の白亜の浜辺のすぐ近くでスウェーデン初の商業用果樹園を営む Kiviks Musteri 社 (Kiviks 社) が初めてリンゴの木を植樹したのは、1888 年でした。現在、オーケソン家の 4 代目が経営する Kiviks 社は、古き良き時代の信頼と伝統を守りつつ、現代の慣習や新しい機会を取り入れることを信条としています。2020 年のパンデミックによって需要が急増した Kiviks 社は、直近の売上が 7,400 万ユーロという記録的な数字を達成しました。こうした急激な拡大は、Kiviks 社の事業をさらに複雑にしました。2016 年、Kiviks 社は将来の可能性をフルに生かせる俊敏性を確保するために、作業方法やプロセス、IT インフラを見直しました。



本社  
スウェーデン、シビック

業界  
食品・飲料

インフォア製品  
CloudSuite® Food & Beverage

ウェブサイト  
[kiviksmusteri.se](http://kiviksmusteri.se)

“システムに大きな信頼を寄せています。特に、クラウドのホスティングをインフォアに任せられるのは安心です”

ニーナ・ヤルマシオン氏 (NINA HJALMARSSON)  
Kiviks Musteri 社、サプライチェーン・ディレクター兼 CIO

## 成果の収穫

Kiviks 社の果樹園では 70 種類以上のリンゴを栽培しています。小売店や OEM 向けにサイダー、ジュース、ソース、ケーキなど、さまざまな果物やベリーを原料とした食品を製造し、その種類はさらに多様化しています。リンゴや食品、飲料を愛してやまない同社は、直売所、レストラン、博物館、育苗園などを運営し、年間 20 万人を超える観光客をもてなしています。

小規模でありながらも急成長する Kiviks Musteri 社の最大の課題は、成功を支えてきた家族経営企業としての信頼性、価値観、および環境を維持しつつ、大企業と競争できる能力と俊敏性を手に入れることでした。Kiviks Musteri 社は、過去 10 年間で収益と従業員数がともに 2 倍を超える規模になりました。また、製品ラインアップは約 15% 増加し、取り扱う SKU の数も増え続けました。

サプライチェーンディレクター兼 CIO のニーナ・ヤルマシオン氏 (Nina Hjalmarsson) は、次のように話します。「当社の事業規模を考えれば、大企業に匹敵するようなリソースや IT インフラを持つことは不可能です。つまり、よりスマートに働き、より俊敏になり、最適なレベルの効率性を確保しなければなりません」

## クラウドを企業変革のコアに据える

Kiviks 社には、成長機会を活かして将来の基盤を構築するための、クラウドをコアとしチェンジマネジメントプログラムの明確なビジョンがありました。豊富な果樹に恵まれた独特の立地で、物理的に事業を拡大するには限界があることを認識した Kiviks 社は、事業拡大と処理能力向上のためにサードパーティの倉庫会社に業務を委託しました。それと同時に、自社の IT をアウトソーシングして自社のコアコンピタンスに注力したいと考えた Kiviks 社には、新しいテクノロジーインフラが必要でした。20 年以上にわたって運用してきた従来の Movex/インフォア M3™ システムでは、同社の成長に対応できず、またオンプレミスのプラットフォームであったことから、同社のクラウド構想には適さないものでした。

このような要件のもと、2017 年既存システムをシングルテナントのクラウドに移行を検討後、Infor® の協力を得て、マルチテナント型のクラウド ERP CloudSuite Food & Beverage への全面的移行を推進してまいりました。

インフォア CloudSuite Food & Beverage は、インフォア OS とインフォア M3 をベースとしたソリューションです。Kiviks 社がそのシステム基盤に慣れていたことに加えて、業界に特化した機能やベストプラクティス、大企業でも採用されている知見があらかじめ組み込まれている点が評価されて採用されました。このソリューションによって、高まり続ける透明性やトレーサビリティ、食品安全性、廃棄物削減の要件に対応できます。

こうした機能が備わっていることは、増加する在庫回転率や賞味期限の管理だけでなく、サプライチェーン全体のトレーサビリティをより厳格に管理しなければならない Kiviks 社にとって極めて重要でした。また、同プラットフォームの一部を構成する インフォア Factory Track® も、同社の出荷物流における効率化の向上に貢献しています。

Kiviks 社は、ホスティング業務を専門とする Elastic Move 社、M3 のスペシャリスト、およびインフォアのパートナーである Texus 社の協力を得て、同社のサードパーティシステム全体をインフォア CloudSuite Food & Beverage と連携させるために必要な統合、API の構築を行い、複数システムをホスティングするためのプライベートクラウド環境を AWS 上に構築しました。

## デジタルによる差別化

現在、本稼働しているインフォア CloudSuite Food & Beverage は、Kiviks 社が目標を達成し、巨大な競合相手と同じ土俵で戦えるような、よりスマートな働き方を支えています。このソリューションを活用することで、Kiviks 社は日々の改善を行いつつ、全体的な戦略を軌道に乗せることができます。

ヤルマシオン氏 (Hjalmarsson) は、次のように話します。「新しいシステムの価値を日々実感しています。さまざまな分野で小さな改善が見られ、より働きやすくなりました。また、見える化が高まったことで、ビジネス機会を的確にとらえたり、さらなる働き方の見直しができるようになりました」「今ではプロセスが効率化されているおかげで、新しいトレンドにより俊敏に対応し、新しいアイデアを共同開発し、それを現場へ迅速に導入することで、競合他社に先んじることができます」

今後、Kiviks 社の事業全体に改善効果が広がる可能性を考えれば、その恩恵は計り知れません。CloudSuite Food & Beverage は、同社の物流のあらゆる側面を処理し、あらゆる段階でコストを可視化し、収益性を算出するための数値をより厳密に管理して信頼性を高め、正確かつ測定可能な方法で成長を管理することができます。現在、Kiviks 社はクラウドソリューションで得られた事実や数値をベースに、収益性の高い成長を確保できるようにプロセスを調整しています。

一部の人が多くの知識を持つ時代は終わりつつあります。その結果、「偽りの真実」があらたな潜在的な課題を生んでいます。標準化された方法で効率的に仕事ができるようなプロセスの標準化を促進します。また、より高度なデータセキュリティ、サポートサービスへの 24 時間 365 日アクセスを提供し、TCO (総所有コスト) を低減し、最小限のトレーニングで迅速に導入できます。

## タイミングとトレーサビリティがすべて

インフォア CloudSuite Food & Beverage が提供する新機能は、Kiviks 社が収穫のタイミングや原材料のトレーサビリティを高め、タイトな生産スケジュールやサプライチェーン計画に対応できるように支援しています。

Kiviks 社は、常時 3 交代制で 24 時間 365 日生産することで工場の稼働率を最大化していますが、一方で工場が離れた場所にあるという出入庫物流の制約があります。生産プロセスとサプライチェーンを移動する在庫の動きが速い Kiviks 社にとって、工場の北方 1.5 時間の距離にあるサードパーティの倉庫と工場をつなぐ物流チェーンを完全にコントロールすることは不可欠です。また、入庫時に約 6 時間分、出庫時に約 2 時間分の生産可能な保管スペースがあることから、再スケジュールの遅延は物流部門にとって非常に大きな問題となります。また、以前は容易にできなかったのですが、個々のバッチのトレーサビリティを管理して追跡することも大きなニーズです。

## 新旧の融合

新しいフレーバーの開発によって、Kiviks 社の製品ラインアップが約 15% 増加したため、製品ライフサイクルをさらに短縮する必要がありました。廃棄物を最小化しながらサプライチェーンをコントロールすることは大きな課題ですが、インフォア CloudSuite Food & Beverage が支える Kiviks 社のチェンジマネジメントプログラムが、プロセスの最適化に役立っています。

## より安全な戦略の策定

「インフォアのクラウドサービスのおかげで、当社のフードチェーンの効率性、安全性、収益性を高めることができました」とヤルマシオン氏 (Hjalmarsson) は話します。それだけでなく、Kiviks 社は、総所有コスト (TCO) の削減、サポートへの依存度の軽減、ビジネスプロセスに関する企業知識の拡大を実現しています。このソリューションは、ユーザーフレンドリーで、若い世代の社員にとって使いやすく、公式あるいは非公式な研修を受けることよりも、従業員が各自の役割に注力することを可能にします。

また、他システムとの統合が可能なので、あらゆるインサイトを活用した意思決定と計画、実行を通して、同社の価値を最大限に引き出しているのです。

## 未来への還元

Kiviks 社は、製品構成別の収益性を詳細に分析、収益率と収益性の再評価を行うことにより、より精密な戦略から実行への落とし込みを目指しています。また、マルチテナントクラウドへの移行は、同社が環境面での信頼性を高め、長期的な持続可能性目標の実現に向けたインダストリー 4.0 などの取り組みへの足がかりになると考えています。

例えば、CloudSuite Food & Beverage の生産計画データを利用すれば、Kiviks 社は、水の使用量を最小限に抑え、すべての廃水を賢く持続可能な方法で再利用できます。電力消費量や二酸化炭素排出量、水使用量の削減目標は、同社の商業的アジェンダと同様に重要であり、CloudSuite Food & Beverage はその戦略の重要な要素と見なされています。

ヤルマシオン氏 (Hjalmarsson) は次のように話します。「チェンジマネジメントの目標をインフォアとのプロジェクトで達成できたという大きな自信があります。そして、私たちには、企業として未来に向かう道のりを支えてくれるプラットフォームがあります」

マルチテナント型クラウド環境の導入を進めることによって、Kiviks 社は新たなイノベーションを可能としより安定した未来のビジネスを実現できます。「毎月の定期的なクラウドアップデートで新しい機能を入手できます。また、新たなアイデアをインフォアのプロダクトマネージャーに提案してからシステムに実装されるまでの時間がはるかに短いというメリットをすでに実感しています。インフォア CloudSuite Food & Beverage を利用するすべての顧客が、同じプロセスを多く実行することで、将来的に共通の要件を持つ、より強力なエコシステムが生まれると信じています」

詳しくはこちら [➤](#)



インフォアは、業界特化型のビジネスアプリケーションをクラウドで提供しています。17,000人の社員が、175か国以上で65,000以上のお客様のビジネスを支援しています。詳しくは、[www.infor.com/ja-jp/](http://www.infor.com/ja-jp/)をご確認ください。

Copyright© 2023 Infor. All rights reserved. 本文に記載の文字商標および図形商標は、インフォアおよび/またはその関連会社ならびに子会社の商標および/または登録商標です。本文に記載のすべての他の商標は各所有者の所有物です。 [www.infor.com](http://www.infor.com)

東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル16階

INF-2513325-ja-JP-0523-1